

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | 日本国憲法 | 担当 | 栗原 潤也 | 履修学年 | 2年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 必修 | 単位数 | 2単位 |

【授業目標・到達目標】

実際の事例等を用いて分かりやすく解説をして日本国憲法に親近感を持ってもらえるような講義内容となるよう努力し、授業を履修した結果、日本国憲法についての基本的理解を得ることを目標とする。

【履修注意】

- 1 毎回、出席をとる。
- 2 適宜、小テスト(10分程度で解答できるもの)をする。
- 3 私語等、他の履修者に対する妨害となる行為をした場合には厳正に対処する。
- 4 本科目は教職課程履修者の必修科目であり、それ以外のものは履修できない。

【評価方法】

- ・定期試験及び適宜求める小テストによって評価する。
- ・欠席が5回以上の場合には定期試験を受験することはできない。

【試験について】

- ・筆記式試験であり、詳細は講義中に言及する。

再試験対象者の条件:再試験は実施しない

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

購入教科書なし。法律の条文を確認する必要があるので、PCを持参してください。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|------------|--------------------------------|
| 1 | ガイダンス | 講義の進め方 |
| 2 | 憲法の基礎(その1) | 憲法の意味、基本原理等について解説する。 |
| 3 | 憲法の基礎(その2) | 基本的人権、人権の享有主体性について解説する。 |
| 4 | 幸福追求権 | 幸福追求権について裁判事例を用いて解説する。 |
| 5 | 法の下での平等 | 法の下での平等について裁判事例を用いて解説する。 |
| 6 | 精神的自由(その1) | 思想良心の自由、信教の自由について裁判事例を用いて解説する。 |
| 7 | 精神的自由(その2) | 表現の自由について裁判事例を用いて解説する。 |
| 8 | 経済的自由(その1) | 職業選択の自由について裁判事例を用いて解説する。 |
| 9 | 経済的自由(その2) | 財産権について裁判事例を用いて解説する。 |
| 10 | 社会権 | 生存権と教育を受ける自由について裁判事例を用いて解説する。 |
| 11 | 参政権と受益権 | 参政権と受益権について裁判事例を用いて解説する。 |
| 12 | 憲法改正と憲法9条 | 憲法改正と憲法9条について解説する。 |
| 13 | 統治(その1) | 立法、行政、司法それぞれの機関及び関係について解説する。 |
| 14 | 統治(その2) | 財政、地方自治について解説をする。 |
| 15 | 期末まとめ | 14コマの復習講義 |
| 16 | 期末試験 | 15コマの復習・確認・総まとめ |